

山口 敏子 議員



特定健診受診を推進するため
どんな啓発をしているか

問

特定健診は、メタボリック
クシンドロームを早い段階

で見つけ、心臓病や脳卒中
など重篤な病気を予防する
大切なものである。

国保「特定健康診査」について

今年度の健診期間は平成23年9月30日（金）
までです。

また、特定健康診査を受診されていない方は、海
部地区特定健康診査実施医療機関にて、ぜひ受診し
てください。特に40代、50代の方の受診率が低
いようですので、この機会にご自分の体の現状を把
握するために、受診してみたいかがでしょうか。

<問い合わせ先>市役所保険年金課（内線123）



▶ 広報8月号のお知らせ

中でも血液検
査で調べるクレ
アチニン（腎
臓のろ過機能を
示す指標）は、腎
臓病予備軍を見
つける大切な検
査項目である。
腎臓は血液中
の老廃物をろ過
し、きれいな血
液に戻す大切な
臓器で、23年の
全国的人工透析
患者数は約30万
人である。
兵庫県尼崎市
は、市民に分か
りやすい表とチ
ヤートで健康指
導【】し、人

工透析患者が減少している
と報告されていた。

全国の自治体でクレアチ
ニン検査の項目は4割しか
実施されていないが、市は
この検査を入れており、素
晴らしいと思う。

国民健康保険（以下「国
保」）加入者で、特定健診の
対象者は何人か。

尼崎市が特定健診で独自に
行う工夫で、腎臓のろ過能
力を判別する「クレアチニン検
査」の結果を分かりやすくするた
め、色分けした表、独自の健康チ
ヤートを作成し、透析患者を減少
させたことがテレビで紹介された。

答 健康推進課長

国保被保険者40歳から74
歳の対象者数は、8、27
1人である。

問

市民に健康診査を受けて
もらうため、どんな運動を
しているか。

広報11月号に22年度の決
算報告が掲載されており、
国保特別会計の欄で、医療
に掛かる金額がかなりの％
を占めている（約39億円で、
市の全支出中約17％）。

こんなに多額の医療費を
掛けることなく、健康で元
氣な毎日を過ごしてもらう
ために、このお金を使って
ほしい。

特定健診の案内パンフレ
ットには、健診受診者は3
人に1人、40代、50代の男
性は5人に1人しか受けて
いない。

特定健診は安い費用で受
けられる。市はこの健診を
どんな形でアピールしてい
るか。健診の結果、保健指
導を受けた人は何パーセン
トいるか。

広報、ホームペ
ージでPR

答 健康推進課長

健診を推進するために、
広報、ホームページでPR
している。広報は年4回P
Rしている。

22年度受診者2、772
人のうち、特定保健指導対
象者は273人、指導を受けた
人は101人である。